



Asada Akira Academia

京都造形芸術大学大学院長/比較藝術学研究センター長・浅田彰の企画による

先鋭的な公開講座 [アサダ・アキラ・アカデミア]



磯崎新 / 「ふたたび廃墟になったヒロシマ」(1968年、ミラノ・トリエンナーレ)

# 廃墟と(としての)未来—— カタストロフィ後の アートとアーキテクチャー

磯崎新 (建築家)

岡崎乾二郎 (造形作家、批評家、近畿大学国際人文科学研究所教授)

コメンテーター

椿昇 (現代美術家、京都造形芸術大学美術工芸学科長)

モデレーター

浅田彰 (批評家、京都造形芸術大学大学院長)

2011年7月10日(日) 15-18時 (開場14時30分)

京都芸術劇場・春秋座

入場無料/定員400名(当日先着順 事前申し込み不要)

主催: 京都造形芸術大学大学院

共催: 京都造形芸術大学比較藝術学研究センター、アトミック・カフェ

東日本大震災とそれによって起こった原子力発電所事故は、われわれの目前におそるべき廃墟を現出させた。その廃墟は、1923年の関東大震災や1995年の阪神・淡路大震災を想起させる以上に、見方によっては原子爆弾を投下され敗戦に追い込まれた1945年の日本の廃墟と重なって見える。その廃墟を前にしたわれわれに、いかなるヴィジョンが開けるのか。

戦後の日本、そして世界の建築界をリードしてきた磯崎新は、実は、広島の廃墟の只中に丹下健三設計の平和記念館陳列館だけが建ち上がった光景をみて「未来都市は廃墟である」と直観していた。丹下健三に続くメタボリストたちが、もっぱら未来へと前進する時間軸にそって成長し増殖する建築や都市を構想したとすれば、そもそもポストメタボリストとして出発した磯崎新は、未来の廃墟から現在を振り返って見るレトロスペクティブな視線をそこに重ねていたのだ。その磯崎新が、いま東日本大震災後の廃墟に何を見るのか。

他方、美術家としてジャンルの枠を超えた活動を展開している岡崎乾二郎は、実のところ、美術の枠をも超え、建築や地域計画にいたる実験を試みてきている。その岡崎乾二郎が、磯崎新のヴィジョンにどう応答し、またどのような独自のヴィジョンを提起するのか。

日本でもっともラディカルなアーキテクトとアーティストによる、これは大震災後のヴィジョンをめぐってのかつてなくアクチュアルな対話となるだろう。

お問い合わせ先

京都造形芸術大学大学院 075-791-9122(代)

京都造形芸術大学大学院・比較芸術学研究センターでは、学生・教職員のみならず市民のみなさんにも広く開かれた知的交流の場として公開講座を開催しています。今年度もすでに小原真史の中平卓馬に関する仕事と平倉圭の「L.ゴダールに関する仕事を紹介しました。8月14日には、舞台芸術研究センターとの共催による特別企画として、渡邊守章・浅田彰・坂本龍一・高谷史郎・白井剛・寺田みさこらによるパフォーマンス「マラルメ・プロジェクトII『イジチュール』の夜」(有料)を開催する予定です。ぜひご注目ください。



写真 © 香港・日蘭国際文化有限公司  
Arata Isozaki  
磯崎新

1931年大分生まれ。1963年磯崎新アトリエ設立。代表的な建築作品に「大分県立中央図書館」(現アートプラザ、1966)、「群馬県立近代美術館」(1974)、「ロサンゼルス現代美術館」(1986)、「バルセロナ市オリンピック・スポーツホール」(1990)、「なら100年会館」「秋吉台国際芸術村」(1998)、「深圳文化中心」「北京中央美术学院美術館」(2008)、「ヒマラヤ・センター」「カタル国立コンベンションセンター」(2011)など。

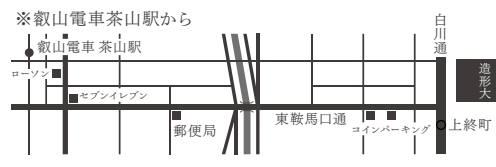
著書に「空間へ」、「建築の解体」、「UNBUILT/反建築史」、「建築における「日本的なもの」」、「Any:建築と哲学をめぐるセッション1991-2008」(浅田彰との共著)、「磯崎新の建築・美術をめぐる10の事件簿」(新保淳乃、阿部真弓との共著)など多数。



Kenjiro Okazaki  
岡崎乾二郎

1955年東京生まれ。造形作家、批評家。1982年パリ・ビエンナーレ招聘以来、数多くの国際展に出品し、2002年にはセゾン現代美術館にて大規模な個展を開催。また、同年「ヴェネツィア・ビエンナーレ第8回建築展」(日本館ディレクター)や、現代舞踊家トリシャ・ブラウンとのコラボレーションなど、つねに先鋭的な芸術活動を展開している。東京都現代美術館(2009-2010年)における特集展示では、1980年代の立体作品から最新の絵画まで俯瞰した。主な著書に『ルネサンス 経験の条件』(筑摩書房)、『れろろくん』(ばくきょんみとの共著、小学館)などがある。近畿大学国際人文科学研究所副所長。

京都芸術劇場 春秋座 [京都造形芸術大学内]  
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116



◎JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から  
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車  
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

◎京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から  
京都市バス204循環に乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

◎京阪電車出町柳駅から  
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの  
ご来場はお断りします。